



# 北朝鮮の弾道ミサイル開発はどのくらい進んでいるの？



北朝鮮は、以下のように **ミサイル関連技術** や、**実戦的なミサイル運用能力を向上** させています。

### ミサイル関連技術の向上

#### 発射の秘匿性・即時性向上

車両、鉄道、潜水艦等、様々な場所から発射  
⇒ 通常の発射台からの発射よりも、**いつ、どこから発射するかを事前に把握するのが困難**

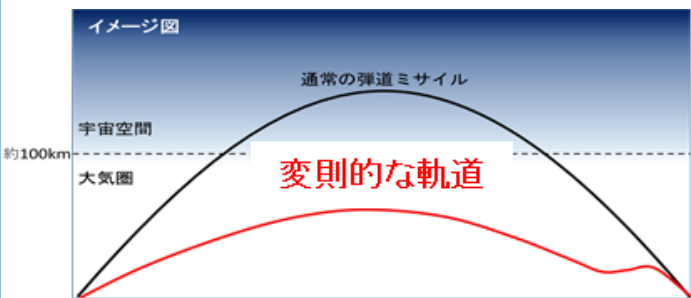


発射台付き車両(TEL)

潜水艦

#### ミサイル防衛網の突破能力の向上

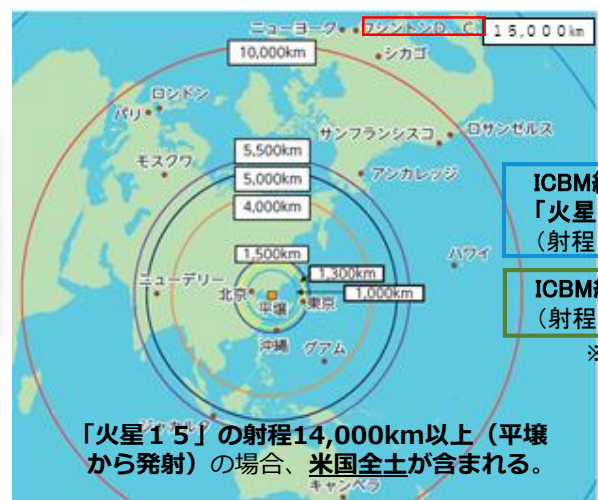
- 低い高度を変則的な軌道で飛ぶ弾道ミサイルの開発
  - 「極超音速滑空飛行弾頭」の開発
- ⇒ 通常の弾道ミサイルよりも**探知や迎撃が困難**



### 長射程ミサイルの開発

ICBM級「火星15」「火星17」「火星18」は、弾頭重量等によっては射程14,000km～15,000km以上（米国全土を含む長さ）に及ぶ

⇒ 米国に対する抑止力を確保したと一方的に認識し **軍事的挑発の増加・重大化につながる可能性も**



### ミサイル運用能力の向上

- 複数発の同時発射
- 発射間隔が1分未満の発射
- 異なる場所から発射し、特定の目標に命中させることを追求

